



さかい通信 2021 冬号

新型コロナウイルスの感染によりお亡くなりになられた全ての皆さまに哀悼の意を捧げるとともに、傷病中の皆さまの一日も早い回復をお祈り申し上げます。

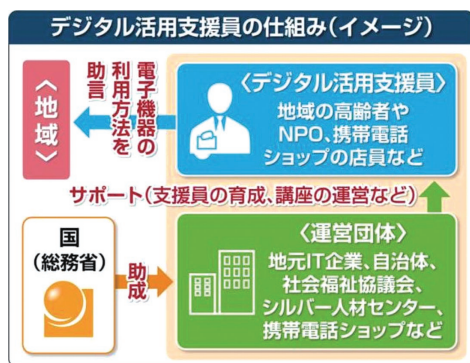
また今日まで、そして引き続き、医療の最前線で戦ってくださっております医療従事者の皆さまをはじめ、介護士や保育士、スーパーやドラッグストア、公共交通機関、清掃業、配送業など、社会インフラ維持のために従事する全てのエッセンシャルワーカーの皆さまへ、改めて感謝を申し上げます。

◆千葉市議会・令和2年 第4回定例会より

去る11月26日より12月15日まで、千葉市議会・第4回定例会が開催されました。公明党市議団の代表質問では、私自身、以前に一般質問で実現を求めてきた（誰もがITの恩恵を受けられるよう環境を保证する）「デジタル・ミニマム」への対応や、生涯学習におけるICT活用講座、オンライン講座の充実などについてとりあげました。



◆“デジタル活用支援員”の普及を



総務省の調査によれば、13～59歳までは100%近くがインターネットを利用するのに対し、60代は90%、70代は74%、80歳以上は57%と割合が低くなっており、これに対し国では、昨年10月より全国11カ所で「デジタル活用支援員」の実証事業を開始。地元IT企業やシルバー人材センターなどが担い手となり、高齢者を中心にスマートフォンをはじめとする電子機器の使い方を分かりやすく伝授するものです。

これらを踏まえ今後の取り組みを問うたところ、市長からは「市民の使いやすさ及びわかりやすさを重視した行政のデジタル化についての検討を進め、より多くの市民がデジタルサービスを活用できるよう環境整備を推進する。」「市民の皆さまが地域でICTを学び合う仕組みの構築など、携帯電話事業者等と協議しつつ検討していく。」との答弁がありました。

◆学びの場の充実を

コロナ禍において、デジタル化、オンライン化の普及が進んでおります。また、テレワーク等により空き時間が増したことを背景に、学びの場を求める機運は上昇傾向にあります。千葉市の生涯学習センターや47カ所の公民館を活用し、シニア向けのICT活用講座の拡充、オンライン講座の充実を求めました。

教育長からは「シニア層を中心にICTリテラシーの向上に資する講座を積極的に開催していく必要があり、拡充を図っていく。」「生涯学習施設全体で講座の充実をめるとともに、動画視聴のような単方向型のみならず同時双方向型の講座開催につながるよう努める。」との答弁がありました。



千葉市新型コロナウイルス感染症対策条例が可決 (令和2年12月17日施行)

新型コロナウイルス感染症の流行が長期化し、感染が冬に向かって拡大することも予想される中で、これまで以上に感染症対策を円滑に推進するため、市、市民及び事業者の責務を定めるとともに、感染者、医療関係者等への配慮に関し必要な事項を定める条例を新たに制定しました。

既に10月の段階で「コロナ差別がゼロのまち宣言」を発出しておりますが、より根拠を明確にすることで一層の理解と協力を求めるものです。なお、罰則はありません。



トピックス 地域の交通課題に挑む

政令指定都市という大都市でありながら市営バス等が存在せず、公共交通網が決して潤沢とは言えない千葉市。高齢化の進展とともに、自動車の運転免許を返納する動きも加速する中であって、外出時の足となる交通網の整備は喫緊の課題であります。議員になって初めに声を頂いたのが平成22年。(近年では、地元・蘇我の住民の皆さま、大森・大蔵寺・川戸方面の皆さまからも多数の声を頂いております。)以後10年来、先進市の取り組みなどを視察し、議会質問を重ねてきました。

さて昨年12月、千葉市ではNTTドコモと連携し、幕張新都心エリアで人工知能(AI)を活用したバス運行の実証実験を行いました。(写真参照) 駅周辺や幕張メッセ、商業施設、ホテル、住宅街など、計24カ所に臨時的なバス停を設置した上で、利用者がスマートフォンで入力した乗車予約を分析し、AIが効率的な運行ルートを開き出し運行するという仕組みです。週末は日に300組、平日はその約半数が利用されておりました。

中央区にあっても、鉄道駅やバス停まで一定以上の距離がある住宅街をターゲットに事業化できれば、高齢社会の新しい足になり得るビジネスモデルと考えます。具体的な形になる様、引き続き努力して参ります。



市政の話題

声を形に



- 1 不妊治療の費用助成拡充** 今月より助成費用の拡充、所得制限の撤廃が行われるほか、明年4月から保険適用が開始される見込みです。また、不育症の検査費用の負担軽減も進む予定です。
- 2 飲食店向けの新たな支援策** 「千葉市飲食店冬季感染症対策支援金(加湿器等の設置経費について最大10万円補助)」を昨年未より実施中。
- 3 自転車保険の加入義務化** 事故の際に被害者を救済し、加害者側の生活の破たんを防ぐため、4月より自転車保険等への加入が義務化されます。
- 4 障がい者の雇用促進** 新たに策定された「市障害者活躍推進プラン」において、「管理職への登用」「(法定雇用率等において)民間に範を示す」旨が明記されました。

拡充される 不妊治療の費用助成

現行	拡充後
初回30万円、2回目以降は15万円	初回30万円、2回目以降も30万円
最大通算6回まで	子ども1人に最大6回
事実婚は対象外	事実婚も対象に
所得制限は夫婦の合計730万円	所得制限を撤廃

2022年4月 保険適用を開始

事業者向け臨時相談窓口

(中小・個人事業主向け 国・県・市の支援内容相談)
平日 9:00～17:00

043-245-5898

厚労相「接触確認アプリ」

陽性者と接触した可能性がわかることで、保健所のサポートを早く受けることができます。



心のケア相談

(不安や不眠、憂うつな気持ちが続いている方)
平日 9:00～17:00

043-204-1582

お困りごと電話相談窓口

(利用可能な支援・制度がわからない方向け)
平日 9:00～17:00

043-245-5187

帰国者・接触者相談センター

(息苦しさ、強いだるさ、高熱等の症状がある方)
平日 9:00～19:00
土日祝 9:00～17:00

043-238-9966

平日 17:00～21:00
土日祝 13:00～17:00

0570-010-400

※SNS(LINE)による相談



市政に関するご意見、ご要望など、みなさまの声を聞かせください。

千葉市議会議員 **酒井 伸二**

〒260-0822 千葉市中央区蘇我3-5-14

Tel/Fax. **043-268-7120**

ホームページは「酒井伸二」で検索ください! <http://www.facebook.com/sakai.cc> e-mail:sakai_chiba@ko-mail.jp

ホームページは
こちらから▼

